

不整脈の心電図の見方と治療の要点

～心電図の判読・危険な不整脈の予測・治療の要点・家庭用心電計の活用～

不整脈は医療関係に携わるものであれば、遭遇する機会が多い重要な心臓の徴候です。最近では不整脈に関する診断法や治療法に若干の変化がみられますが、不整脈に関する基本的な知識を身につけていれば問題ありません。

本セミナーでは、基本的な不整脈心電図のみかたから、

危険な不整脈の予知、日常よくみる不整脈の心電図解析と治療、家庭用心電図の活用など、現時点における不整脈診療の要点を解説したいと思っております。

小沢 友紀雄

プログラム

● 不整脈の種類と心電図の読み方のポイント

不整脈は基本的に頻脈性不整脈と徐脈性不整脈に分けることができます。両者の主な不整脈を実例の心電図で示し、その読み方のポイントをお話したいと思っております。

● 危険な不整脈とその予測のしかた

不整脈をみたら、その不整脈が突然死など危険な状態を惹起する可能性の有無を判定する必要があります。また、Brugada症候群やQT延長症候群などの致死的不整脈を起こす特殊な疾患が最近話題になっています。ここではQT測定の問題点を含めて、危険な不整脈の予測に関して解説したいと思っております。

● よくみる不整脈と治療のポイント

日常診療では不整脈をみる機会が多いのが実情です。よくみる不整脈でも、いろいろな出現の仕方や心電図上の波形のみかたがあります。また、治療の要否や、薬物治療か非薬物治療かが問題になる場合もあります。ここでは特に下記の2項に関して述べたいと思っております。

- 1) 期外収縮のみかたと治療のポイント
- 2) 心房細動と心房粗動のみかたと治療のポイント

● 家庭用心電図からみた不整脈と対策

携帯型心電計（イベント心電図）は不整脈の診療に不可欠のものになりつつあります。最近では、家庭用心電計も市販されるようになり、こうした携帯型心電計による不整脈の評価が一般化されつつあります。本項ではこうした携帯型心電計による不整脈のみかたから、以下の2つの重要なポイントを解説したいと思っております。

- 1) 症状からみた不整脈
動悸・ふらつき・失神などとの対比
- 2) 不整脈に関わる非連続的心電図モニター
無症候性不整脈の評価・波形の変動（Brugada症候群など）・薬物の効果と副作用など